

令和元年度第7回国府地域振興会議

日時：令和2年1月28日（火）

13：30～

場所：国府町総合支所 第1会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 新市域振興ビジョンの進捗について 資料1

4 協議事項

(1) 地域特定課題について

①菅野ミズゴケ湿原保存整備 資料2

②万葉の館の開店について 資料3

5 その他

6 閉 会

地域特定課題提案に対する現状

提案委員	横山 璋也委員
課題名	菅野ミズゴケ湿原保存整備
提案理由	① 昭和42年12月12日県指定文化財 ② 貴重な植物湿原で天然の記念物である ③ 荒廃した湿原となっている。復活させたい。
課題の内容	山陰海岸ジオパークエリア（雨滝・扇ノ山・殿ダム）の活用一環。

菅野ミズゴケ湿原の状況

概況	<p>○国府町菅野にある面積約650㎡の湿原。扇ノ山火山岩類安山岩溶岩によって堰き止められてできた湿原で、標高は400m。かつては一面がオオミズゴケ群落に覆われていた。現在は耕地化されてしまい、湿原の乾燥化が進み、樹木などが進出している。</p> <p>○5月、6月にはカキツバタが開花する。</p> <p>・ 昭和42年12月12日県指定天然記念物指定（所有者が管理するのが前提←行政は支援する）</p>
本市の取り組み状況	<p>○国府町時代から所有者の地元自治会の清掃活動（年2回-6月、11月）を補助</p> <p>○平成11年度～13年度まで、樹木や雑草の抜根作業を実施。</p> <p>○平成13年度には湿原が巡回できるよう木道を設置。</p> <p>○平成27年度から毎年、県（緑豊かな自然課）と市で除草・清掃活動実施。</p> <p>○山陰海岸ジオパークのモデルコースに入れ、ドライブコースを設定するなど観光面でも活用している。</p> <p>○今年度、県が水を湿原に引き込むための工事実施（湿原の保存）</p>
今後の方針	<p>○行政（県・市）としては、湿原の保護・保存に向けて所有者の維持管理への支援を行う。</p> <p>○木道の老朽化に伴う修繕や拡張は検討したい。</p> <p>○観光面としては、ジオパークエリアの観光コースでの周知を継続的に行う。（いなば国府ガイドクラブとの連携）</p>

万葉の里から溶岩流が作り出した雄大な高原と滝をめぐる



扇ノ山北麓コース

・ドライブコース

山陰海岸ジオパーク
モデルコース
(山陰海岸国立公園)

鳥取市国府町は、因幡国の国府が置かれた場所で、万葉集の編者である大伴家持も国守として赴任しました。万葉集の最後の歌は、この地で詠まれたことから、この国府町で万葉集を編纂したといわれています。また、扇ノ山北麓周辺は、日本海が拡大した頃の地層やカルデラに堆積した地層が広がり、化石を産出することでも知られています。さらに、扇ノ山の火山活動による溶岩流が平坦な台地をつくり、その末端部には多くの滝が見られます。平野部から標高1,000mにもよぶコースは、歴史のロマンと四季折々の自然の変化が楽しめるコースです。

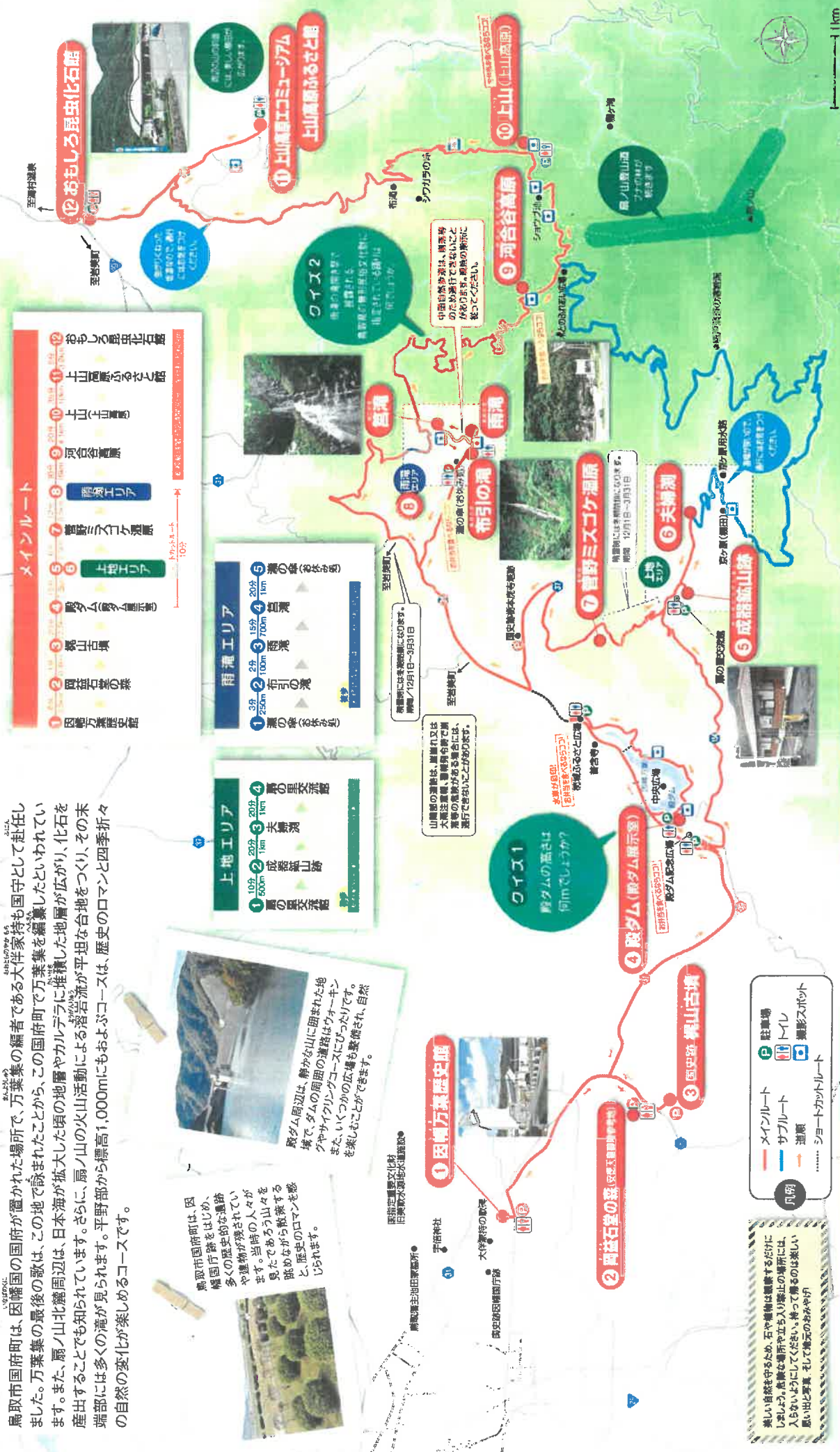
鳥取市国府町は、因幡国行跡をはじめ、多くの歴史的な遺跡や遺物が残されています。当時の人々を思たであろう山々を駆けぬがら散策すると、歴史のロマンを感じられます。

殿ダム周辺は、静かな山に囲まれた地域で、ダムの周囲の道路はウオーキングやサイクリングコースにぴったりです。また、いくつかの広場も整備され、自然を楽しまることができます。

上地エリア	
1 10分	扇の里(休み処)
2 2分	成道山山跡
3 2分	夫木湖
4 1分	馬の里交差点

雨滝エリア	
1 3分	滝の幸(休み処)
2 2分	布引の滝
3 15分	白滝
4 20分	滝の幸(休み処)

メインルート	
1	因幡万葉集公園
2	因幡石堂の森
3	扇山古墳
4	殿ダム(扇ダム展示)
5	上地エリア
6	雨滝エリア
7	鳥取県立自然史博物館
8	扇山公園
9	河合高原
10	上山高原ふるさと館
11	上山(上山高原)
12	おもむきの昆虫化石館



凡例

- メインルート
- サブルート
- 遺跡
- ショートカットルート
- 駐車場
- トイレ
- 撮影スポット

美しい自然を守るため、石や樹木は整備するだけに留め、高層な場所や立ち入り禁止の場所には、入らないうようにしてくれています。帰って来るのは楽しい思い出を、そして地元のおみやげ。

地域特定課題提案に対する現状

提案委員	山根 玲子 委員
課題名	万葉の館開店について
提案理由	国府町の中心地であり、万葉の館が開いていないと淋しい気持ちで町の発展のためには、万葉の館が輝いていないといけないと思います。
課題の内容	<p>国府町の特産（みやげ店） ぶどう・梨・玉ねぎ</p> <p>・国府町の野菜、菓子のかきもちを使って、東小学校、福部小中学校の学校給食を東小学校で作って運んでいる。 (写真等)</p> <p>・学校給食で食べている写真等 ・年間行事、観光写真の広告 ・さつき、松、国府町の花等</p>

鳥取市食文化体験施設万葉の館の現状等

施設概要	<p>【設置目的】市民および都市生活者を対象として、万葉食文化の体験学習並びに地域特産品及び農産物の加工、展示等を行うことにより、地域及び農林業の活性化を図る。</p> <p>【概要】▽所在地：鳥取市国府町庁391-3 ▽施設：食文化体験室、展示販売室、会議研修室、事務室 ▽構造：木造平屋436.8㎡ ▽建築日：平成10年7月19日</p>
施設管理の現況	<p>○平成10年6月 万葉のふるさと交流協会設立、万葉の館管理運営に当るが経営不振により平成11年3月解散</p> <p>○平成11年4月 万葉の館を①食部門と②土産部門に分け、①をざんりん、②を国府町農業公社が管理運営</p> <p>○平成18年3月 土産部門から農業公社撤退 食部門のみ運営となる</p> <p>○平成26年4月1日 指定管理制度開始 ((有)こくふ万葉の館による指定管理開始)</p> <p>○平成31年3月31日 指定管理者 ((有)こくふ万葉の館) による管理・運営終了。</p> <p>○平成31年3月31日 施設管理者募集するも応募者なし。指定管理者不在となる。</p> <p>○平成31年4月1日 施設休止 (以降公募していない)</p> <p>○令和2年1月現在 国府町内の農業生産法人ほか有志が共同運営について検討しているが、現時点で方向性は見えていない</p>